

## ■ Roadコンサルティングからの人材育成情報

### 富士市社会福祉協議会様 管理職研修レポート

富士市社会福祉協議会様の管理職研修を弊社の大道和哉が担当させて頂きました。

前半は「人材育成を進める上でのコツ」についての研修、後半は人材育成に関する計画案を磨き上げるためのワークショップを行いました。

研修のはじめに、組織が事業を継続していくためには、人材育成が重要であることを共有させて頂きました。組織が事業を継続していくためには、現状よりも強い組織をつくることができなければ、組織は衰退します。組織は一人ひとりの個人の集合体です。個人の成長が組織を成長させる最大の要因です。従って、組織にとって人材育成は極めて重要なミッションに位置づけられます。

人材育成が重要であることを共有した上で、富士市協様が掲げる職員行動指針を紐解くための話し合いを行いました。その結果、既に職場で仕事をする中で培うことができる能力と、OJT（職務を通じての研修）のみでは育成が難しい能力に、ある程度は分類できることを確認しました。

ディスカッションを通して、言われた仕事を確実に行うことは大切ですが、そのレベルに止まらず、自ら考えて行動できるレベルを目指すことの認識を深める機会になったように感じます。受講者様は積極的に素直な発言をして下さり、こちらも大いに学ばさせて頂きました。

最後になりますが、研修に参加して下さいました受講者様、社会福祉協議会様に心より感謝申し上げます。当社の研修情報はこちらよりご覧下さい <https://road-consulting.jp/service/human-resources-development/>



### キャリアコンサークル「Career-Way」のご案内



当社は「国家資格キャリアコンサルタント養成講座」（主催/キャリアドライブ）の事務局サポートを担当させて頂いており、養成講座修了生の自己研鑽の場であるキャリアコンサークル「Career-Way」の運営にも携わっています。

Career-Wayは毎月1回、サークルメンバーで勉強会を開催しています。

勉強会の内容としましては、キャリアコン資格取得後の活動についてやケース検討勉強会等、毎月テーマを決め実施しております。

最近の勉強会の中で、キャリアアカウンセリングについて学ぶことは「変化により良く対応するための勉強」であるというお話を伺いました。今後も目まぐるしく変化する時代の中で、まずは自分自身が変化に対応するための知識・方法を学ぶ。そして、自分が対応できるから、人に少なからずアドバイスができるようになるのだと理解しました。

今後Career-Wayでは一般の方も参加して頂ける講師をお招きしたセミナー開催など、自己研鑽できる場を企画してまいります。Career-Wayにご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。

<https://road-consulting.jp/contact/>

担当/大道桂三



## ■ 社労士オフィスろーどからの労務情報

## 新型コロナ関連 勤務等の取扱い

1月末頃から、会社様からの新型コロナウイルス関連の勤務の取扱い等についてのお問合せが増えています。具体的には、新型コロナウイルス関連（陽性者、濃厚接触者、その他）を事由に社員が仕事を休んだ場合、その日は欠勤になるのか、有給を取得させるべきなのか。それに伴う補償はあるのかといった内容が多いです。お問合せが多い内容をQ & Aにまとめましたので、宜しければご覧ください。



<https://office-road.jp/news/3465/>

## よく聞かれる労務の基礎知識「振替休日と代休の違い」

業務上の都合で休日に出勤し、そのかわりに他の労働日に休んだ場合に休日出勤手当は発生するのか？という趣旨のご質問をよく頂きます。回答としては、「振替休日」であれば支払いの義務はなく、「代休」であれば休日労働分の割増賃金を支払う必要があります。「振替休日」と「代休」の違いを以下に整理しました。

振替休日	代休
事前に振り替える休日を指定しているケース	休日出勤をした後、代償の休日が与えられるケース
「振替休日」とは、予め休日と定められていた日を労働日とし、そのかわりに他の労働日を休日とすることを言います。これにより、予め休日と定められた日が「労働日」となり、そのかわりとして振り替えられた日が「休日」となります。従って、もともと休日に労働させた日については「休日労働」とはならず、休日労働に対する割増賃金の支払義務も発生しません。	「代休」とは、休日労働が行われた場合に、その代償として以後の特定の労働日を休みとするものであって、前もって休日を振り替えたことにはなりません。従って、休日労働分の割増賃金を支払う必要があります。

## 言志四録から学ぶ②/代表ブログより

言志四録（げんししらく）は、江戸時代に佐藤一斎先生が塾長として講義をする隙間の時間を使って約40年かけて書き上げられたと伝わります。言志四録は、複雑で生きにくい現代を生きる私たちに、本質的な学びを与えてくれる書物です。大変恐縮ながら本日も章句をご紹介します。

## 【章句】

信を人に取ること難し。人は口を信ぜずして躬（み）を信じ、躬（み）を信ぜずして心を信ず。ここを以て難し。

## 【訳】

人から信用を得ることは大変難しいことである。なぜなら、人は言葉を信じないで、その行いを信じるからである。さらにいえば、行いではなく、その人の心を信じるからである。だから、信用を得るといのはそれほど簡単なことではない。

以下は、章句から学んだ私の考えです。

「信」という字は、人と言という字が組み合わさっています。その字が表しているように、発言した通りに実行すれば、人から信用を得ることができます。反対に言っていることと、やっていることが違えば、その人は信用を失います。簡単なことではありませんが、信用を得るための原理原則はシンプルであり、有言実行を目指すことです。

そして、私のような未熟者には到底及ばない領域ですが、必ずしも「言」が必要とは限りません。言葉には出さず、正しいことを黙々と実行できる心の持ち主（不言実行）になれば、さらに素晴らしいことなのかもしれません。

人が信用を得るためのポイントは実行できているかどうかです。私は実行ができていれば、有言実行でも不言実行でも、その人に合った方法を選択すれば良いのではないかと考えます。大切なのは言葉だけにならないこと。精進致します。

【隔週程度のペースでブログを更新しています。宜しければご覧ください。 <https://office-road.jp/category/blog/>】

